

平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成21年12月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ポイント

コード番号 2685 URL <http://www.point.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 稔晃

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 松田 毅

TEL 03-3243-6011

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	69,502	—	12,809	—	12,915	—	7,417	—
21年2月期第3四半期	61,767	18.5	11,767	18.0	11,919	18.6	6,723	17.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	304.84	—
21年2月期第3四半期	272.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年2月期第3四半期	50,638		31,537		62.0	1,289.44
21年2月期	45,885		26,565		57.6	1,086.09

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 31,374百万円 21年2月期 26,426百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	40.00	—	60.00	100.00
22年2月期	—	50.00	—		
22年2月期 (予想)				60.00	110.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	11.9	16,100	2.1	16,200	1.6	9,000	11.2	369.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第3四半期 25,990,720株 21年2月期 25,990,720株

② 期末自己株式数 22年2月期第3四半期 1,658,604株 21年2月期 1,658,593株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第3四半期 24,332,121株 21年2月期第3四半期 24,686,048株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「参考」個別業績予想

平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	11.0	15,800	1.6	16,000	1.2	9,000	12.0	369.88

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年3月1日から11月30日まで）におけるわが国経済は、国内民間需要の自立的回復力は弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直しつつあるとの認識が広がりましたが、当社グループの属するカジュアルウェア市場においては、厳しい雇用・所得環境が続く中、消費者の生活防衛意識の高まりや低価格志向の動きから、消費は低迷状況が続きました。

このような環境のもと、売上高につきましては、前年同期比12.5%増となりました。市況の冷え込みなどの影響を受け、国内既存店売上高は前年同期比95.8%と、通期計画（96.1%）をやや下回る結果となりました。

国内のブランド別では、「レプシムローリーズファーム」、「ヘザー」、「アパートバイローリーズ」等が引き続き高い伸び率を維持しました。

店舗展開も引き続き積極的に行ない、当第3四半期末時点での国内店舗数は、70店舗（内Eコマースサイト10店舗）の出店、5店舗の退店の結果、616店舗（内Eコマースサイト28店舗）となりました。

海外の店舗展開につきましては、台湾におきまして2店舗の出店及び2店舗の退店、香港におきまして5店舗を出店した結果、当第3四半期末時点での海外店舗数は、台湾17店舗、香港13店舗、計30店舗となりました。

収益面では、仕入・在庫・売価変更を適正にコントロールした結果、売上総利益率は62.2%と前年同期比0.1ポイント改善しました。

販売費および一般管理費率は、国内外ともに積極的且つ戦略的に店舗展開を推進したことおよび業績連動のインセンティブ拡充に伴う費用増等により前年同期比0.8ポイント増の43.8%となり、営業利益率は18.4%（前年同期比0.7ポイント減）となりました。

また、特別利益として、ストックオプションの失効に伴う新株予約権戻入益66百万円、関係会社株式売却益85百万円を計上する一方、特別損失として、固定資産除却損64百万円、店舗の賃借契約解除に伴う損失37百万円、3店舗の減損損失として61百万円、投資有価証券の評価損3億99百万円を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は695億2百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は128億9百万円（前年同期比8.9%増）、経常利益は129億15百万円（前年同期比8.4%増）、四半期純利益は74億17百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

（注）「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比は参考値として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、47億53百万円増加して506億38百万円となりました。これは主に、売掛金が34億30百万円、有形固定資産が23億73百万円増加した一方、現金及び預金が8億73百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、2億18百万円減少して191億円となりました。これは主に、買掛金が10億57百万円増加した一方、未払法人税等が24億71百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、49億72百万円増加して315億37百万円となりました。これは主に、利益剰余金が47億40百万円増加したこと等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、29億6百万円減少して173億96百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、36億76百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が125億4百万円あったこと及び仕入債務が10億57百万円増加した一方、売上債権が34億27百万円増加したこと、商品が16億69百万円増加したこと、及び法人税等の支払いが73億26百万円あったこと等によるものです。

